

2013年4月25日

2013年1～3月期中間経営報告書

2013年度、出足好調

- 為替の影響を除いた売上は、5%増という好調な伸びを示しました。
- 現行の為替レートでの売上は1%増でした。
- グループ会社の紙巻たばこ販売数量は、前年同期を3.7%下回る1,600億本、全商品の販売数量は、3.4%減となりました。
- グローバル・ドライブ・ブランド（以下「GDB」）の販売数量は1%増加しました。

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ（以下「グループ」）の最高経営責任者、ニカンドロ・デュランテは、2013年1～3月期の業績について、「世界の多くの地域で続いている脆弱な経済状況を踏まえれば、よい結果です。売上を好調に伸ばし、価格も堅調に維持し、GDBの売上も引き続き伸ばしました。こうした結果は好調な出足であり、本年度も長期的な戦略目標に沿った収益成長を達成できるものと確信しています。」と述べました。

業績概要

売上動向

2013年1～3月期、グループは売上金額及びGDBの販売数量を継続的に伸ばし、好調な業績を達成しました。ブラジルに於けるたばこ税引き上げに起因する流通在庫調整の悪影響、うるう年であった前年度との比較、及び業界全体の販売数量の低迷などにより販売数量が前年同期を下回ったにもかかわらず、グループの主要40市場でのシェアは堅調な伸びを示しました。

為替の影響を除いたグループ全体の1～3月期の売上は、堅調な価格設定環境を背景に、5%増を記録しました。グループの一部の主要取引通貨の変動による悪影響により、実勢為替レートでの売上の伸び率は1%にとどまりました。

販売数量は、バングラデシュ、パキスタン、ベトナムなどの多くの市場で増加したものの、ブラジルの流通在庫圧縮、うるう年であった前年度との比較及び南欧市場の低迷による悪影響が上回ったため、グループ会社全体では前年同期を3.7%下回る1,600億本となりました。

4つのGDBの販売数量は、主要40市場でのシェアが堅調な伸びを示したことで、1%増となりました。ダンヒルは、ブラジルで低下したものの、インドネシア、中東及び韓国でそれを上回る好調な伸びが示されたことで5%増となりました。ケントは、ロシア・日本市場の低迷により7%減となりました。ラッキー・ストライクは、

ドイツ、ポーランド及びイタリアで販売数量が増加したものの、スペイン市場の縮小や中東に於ける販売数量低下の影響を上回るには至らなかったため9%減。ポール・モールは、ウズベキスタン及びスペインでの販売数量が低下したものの、パキスタン、チリ、カナダ及びイタリアでそれを上回る伸びが示されたことで9%増となりました。

紙巻たばこ以外の製品も、ファインカットが西欧市場で9.5%と大きく成長するなど、堅調な業績を示しています。西欧市場でのNo.1ファインカット・ブランドであるポール・モールの販売数量は、スペイン、フランス、イタリア及びベルギーでの成長が大きく貢献し21.2%増となりました。

ビジネス環境

南欧をはじめとする世界の多くの地域で厳しいビジネス環境が続いているものの、価格設定環境は引き続き堅調に推移しました。現在の為替レートが年末迄続いた場合、本四半期の為替の悪影響は覆される見通しです。

販売数量

グループの地域別販売数量：

(単位: 億本)

	2013年1～ 3月期	2012年 1～3月期	2012年 1～12月期
アジア太平洋	480	450	1,880
南北アメリカ	320	370	1,420
西欧	260	290	1,290
東欧・アフリカ・中東	540	550	2,350
	1,600	1,660	6,940

自社株購入プログラム

グループは、2013年3月1日より市場での自社株購入プログラムを再開、2013年第一四半期に350万株を1億2,350万ポンド（取引関連費用を除く）で購入しました。

財務状況

グループは、当面必要とされる十分な資金調達手段と信用枠を確保しています。

本年度期初以降の財務状況の変化には、3月の起債（2025年期日6億5,000万ユーロ及び2016年期日3億米ドル）があります。これ等の起債は、2013年末から2014年初めに掛けて予定されている社債の償還を見据えたものです。

本報告書に記載された以外には、2012年度末以降のグループの財務状況に関して特記すべき事項、取引、及び変化はありません。又、取締役会は、2012年12月31日から本報告書発行直前の2013年4月24日迄に財務状況に重大な影響を与える特記事項、取引、又は変化が発生したことを承知しておりません。

2013年4月24日
取締役会代理
総務部長
ニコラ・スヌーク